

【科目名】医療と園芸療法		
【期 別】後期（9～2月）	【区 分】必修	【種 別】講義
【単位・コマ数】2単位・15コマ	【時間数】22.5	
【主任教員】○山根 寛（5）		○は成績評価者
【分担教員】横山 和正（2） ○小田 美紀子（3） 黒部 一之（1） 松本 京子（2） 岡野 裕（1） 吉水 由香里（1）		○は成績評価者
【授業のねらい】 全人的なリハビリテーションを行うために求められるチームアプローチに必要な知識を身につけ、園芸療法の役割を考えていく。		
【担当教員】	【授業予定】	
小田 美紀子 1/7（土）1-3限	医療における連携、介護と看護の協働、病院における園芸・植物	
黒部 一之 1/14（土）1限	・ 西播磨病院における園芸療法導入の経緯 ・ 西播磨病院におけるリハビリテーション科における園芸療法の意義 ・ 西播磨病院におけるチーム医療としての園芸療法 現状・課題 ・ 西播磨病院における園芸療法研究	
吉水 由香里 1/14（土）2限	・ 新オレンジプランと認知症カフェ ・ 認知症カフェにおける園芸療法	
横山 和正 1/14（土）3-4限	リハビリテーション病院における医療と園芸療法： 急性期（環境療法としての園芸療法）・回復期（治療・援助構造・治療機序）	
岡野 裕 1/14（土）5限	・ 回復期病院における園芸療法について ・ 認知症予防としての園芸療法の意義	
山根 寛 1/7（土）4-5限 1/21（土）3-5限	精神科における回復過程にそった治療、リハビリテーションの基本的な流れと留意事項 園芸を介入手段とした場合	
松本 京子 1/21（土）1-2限	・ 緩和ケアについて ・ 緩和ケアとは何か ・ 園芸療法と死に逝く人へのケア	
【購入図書】		
山根 寛：	・ 「精神障害と作業療法第3版」（山根寛、三輪書店、2010年、3,990円） ・ 「ひとと植物・環境」（山根寛・澤田みどり、青海社、2009年、3,360円）	
【参考図書】		
山根 寛：	・ 「ひとと作業 作業活動第3版」（山根寛、三輪書店、2015年） ・ 「目からウロコの作業料理の本ー臨床作業療法」（山根 寛、三輪書店、2014年） ・ 「ひとと集団・場第2版」（山根寛、三輪書店、2007年）	
【予習課題】		
山根 寛：	精神科における回復過程にそった治療・リハビリテーションと園芸についてレポート作成。 後日TAよりメール送付されるフォーマットに記入し、提出する。	
【成績評価の方法】		
出席状況、課題提出状況など		
【受講生への希望】		
山根 寛：	予習課題のレポートを講義時に提出し出席点とする。レポートはテキストを書き写すのではなく、自分で理解した内容を自分の言葉で書くこと。講義はそのレポートに基づいて行い、成績はレポート内容と講義中の質疑への返答内容および講義後の最終レポートで総合判定を行う。	
吉水 由香里：	認知症カフェについての理解を深めるために、以下の資料を読んでください。 ●認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）パンフレット （厚生労働省ホームページ） http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/nop101.pdf ●認知症カフェのあり方と運営に関する調査研究事業報告書（2013年(平成25年)3月） 認知症の人と家族の会ホームページ：http://www.alzheimer.or.jp/pdf/cafe-web.pdf	